

令和6年度 検証会議【当会議からの提案】への対応状況

1 仙台市におけるいじめの状況について

当会議からの提案（令和6年度）	令和7年度の対応状況（1月末現在）	担当課
<ul style="list-style-type: none"> ・仙台市は、各学校において、不安や悩みを抱えている児童生徒の早期発見、早期対応に努めており、当会議として評価する。市及び教育委員会は、認知件数に関する文部科学省の認識や解消率の考え方等が分かりやすく伝わるような資料を作成するとともに、他都市の状況に係る情報収集や把握に努め、本市の取組に生かすこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」（仙台市分）の結果と、文部科学省における認知件数の考え方や解消率の定義、他都市との比較などの資料を作成し、市立学校へ通知するとともに、校長会やいじめ対策担当研修において、本市のいじめ対策の取組を周知した。 ・いじめの対応に関する他都市の状況について情報収集をするとともに、いじめの認知に関する文部科学省の考え方等について、いじめ防止啓発リーフレットに掲載したほか、関係団体や地域への研修の機会を捉えて、市民に広く周知した。 	教育相談課 いじめ対策 推進課

2 児童生徒の育成につながる取組の重要性について

当会議からの提案（令和6年度）	令和7年度の対応状況（1月末現在）	担当課
<ul style="list-style-type: none"> ・学校は、教育活動全体を通していじめの未然防止を行っていく必要がある。そのため、学校は学校規模や地域性なども考慮し、児童生徒が主体的に考え、参加できる授業や児童会・生徒会の活動に取り組んでいくこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校が児童会・生徒会を中心に、いじめ防止活動に取り組む「いじめ防止きずなアクション」を展開するとともに、スクールロイヤー監修の児童生徒向けのいじめ予防授業を実施した。 	教育相談課

3 チーム学校について

当会議からの提案（令和6年度）	令和7年度の対応状況（1月末現在）	担当課
<ul style="list-style-type: none"> 学校においては、児童生徒の悩みや不安の早期発見や解決に向け、引き続き教職員が児童生徒との関わりを大切にするとともに、ICT活用による心の変化の把握など、効果的な早期支援の取組についても検討すること。 	<ul style="list-style-type: none"> 各学校では、児童生徒の悩みや不安の早期発見に向けて、定期的な教育相談のほか、日々の児童生徒とのコミュニケーションを大切にするとともに、ICTを活用した「心の健康観察」など、児童生徒の小さなSOSを見逃さないための取組を行った。 	教育相談課
<ul style="list-style-type: none"> 教育委員会は、各学校のスクールカウンセラー（SC）やさわやか相談員の活用状況について引き続き把握し、活用例を示すなど、各学校が効果的に活用できるよう支援を行うこと。また、週1日の配置となっているSCについて、学校規模や相談件数も踏まえ、勤務日の増加を検討すること。 	<ul style="list-style-type: none"> SCやさわやか相談員については、毎月の相談件数や活動状況を把握し、活用の好事例について、各種研修で周知するとともに、生徒指導ハンドブックも作成した。また、SCについては、勤務日の増加に向けた配置の拡充について検討しているところである。 	教育相談課

4 いじめ対策担当教諭の役割について

当会議からの提案（令和6年度）	令和7年度の対応状況（1月末現在）	担当課
<ul style="list-style-type: none"> 教育委員会は、研修等を通じていじめ対策担当教諭の資質向上を図るとともに、担当教諭の研修が各校での対応に生かされやすいものとなるように、引き続き研修内容の充実を図ること。 	<ul style="list-style-type: none"> いじめ対策担当教諭に対し、年4回の研修を実施し、事例検討やスクールロイヤーによる講話などを取り入れ、いじめ事案が深刻化することのないよう、初期対応や情報共有の組織的な対応力の向上に努めた。 	教育相談課
<ul style="list-style-type: none"> 教育委員会は、各学校のいじめ対策担当教諭の取組の把握に努め、好事例を各校に展開するとともに、担当教諭同士の情報共有が図られるよう支援を行うこと。 	<ul style="list-style-type: none"> いじめ不登校対応支援チームによる学校訪問などを通して、各学校のいじめ対策に係る好事例を収集し、全校に通知するとともに、いじめ対策担当教諭同士が情報交換できる場を確保し、ネットワークの強化を図っている。 	教育相談課